



東京オリンピックピッチク出場を  
目指して

～Profile～

こなみたくと  
小南 拓人さん (25歳) 札幌市出身  
札幌第一高等学校→国士舘大学体育学部体育  
科→筑波銀行→㈱染めQテクノロジー  
高校2年でやり投げを始め、数多くの大会で  
優勝するなど活躍。2020年には日本ラン  
キング2位。自己ベストは81.73m。

今回は、㈱染めQテクノロジー  
(元栗橋) に在籍し、東京オリ  
ンピックに出場が期待される陸  
上選手(やり投げ)の小南拓人  
さんを紹介します。

小さい頃から肩には自信あり

小学生の頃、兄の影響を受  
け、野球を始め、小・中学校で  
は、野球をしていました。ポジ  
ションは、速球には自信があつた  
ため、ピッチャーを希望していま  
したが、コントロールが悪かった  
ため、内野を守っていました。

高校入学時も野球部に入部し  
ていましたが、高校1年の冬、  
陸上部の顧問の先生から陸上部  
への入部を熱望され、最初は野  
球を辞める気はありませんでし  
たが、毎日のように陸上部の顧  
問の先生から入部の話をいただ  
き、高校2年で陸上部に入部し  
ました。

伸び盛りの高校時代から…

やり投げを始めたばかりの頃  
は、とんとん拍子に記録は伸び  
ていきましたが、大学当初、記録  
が伸び悩み、やり投げは単純な  
競技でなく、緻密ちみつさが必要な競  
技なんだと実感しました。また、  
恩師から自分との向き合い方に  
ついて助言いただいたり、先輩  
から指導いただいたりし、練習  
に励むようにしたところ、記録  
が伸びるようになりました。

大学時代には部員約300名の  
主将に

大学4年のとき、陸上部の主  
将とし、チームをまとめようと  
しました。最初はうまくいきま  
せんでしたが、他の競技のリー  
ダーと力を合わせながら、一丸  
となりチーム作りを進めていき  
ました。

個人では、2017年9月の  
日本学生陸上競技対校選手権大  
会、2017年10月の国民体育  
大会では、優勝することができ  
ました。

茨城の地へ

国士舘大学を卒業後、2018  
年に筑波銀行へ入行、2019  
年9月のいきいき茨城ゆめ国体  
では、3位となりました。

2020年10月に㈱染めQテ  
クノロジーへ入社し、現在は、  
毎週水曜日に出社し、塗装の練  
習をしながら、母校である国士  
舘大学でトレーニングをしてい  
ます。



まだ、職場では塗装の練習

東京オリンピックが延期になる  
もチャンスと捉え

東京オリンピックの出場を  
目指し、2020年には、日本  
ランキング2位、世界ランキン  
グ33位となりましたが、新型コ  
ロナウイルス感染症の影響によ  
り、オリンピックは来年に延期  
となりました。気持的には、  
シヨックは受けず、練習の時間  
が増えたと思い、現在は、オリ  
ンピックに出場できるよう練習  
に励んでいます。

感謝の意を込め、オリンピッ  
ク出場を

事業団選手として、㈱染めQ  
テクノロジーへ入社させていた  
だきました。会社への感謝の意  
を込め、東京オリンピックに出  
場し、活躍できるよう頑張りま  
す。

町民のみなさんには、名前と  
やり投げという競技を知って  
いただければうれしいです。



10月28日、町長を表敬訪問